

会員数 421
 男 341
 女 80
 29. 7. 1現在

会員の皆様へ 事務局だより

第69号 29. 7. 10発行

公益社団法人
 香芝市シルバー人材
 センター事務局
 TEL 79-6601
 FAX 79-6671

《Kashibashi Silver Human Resources Center Association》

第二十九回定時総会が開催されました



当センターの第29回定時総会が5月29日、香芝市ふたかみ文化センターで、香芝市長並びに市議会議長の出席を頂き、開催されました。当日の会員数は、408人で、この内、総会に出席された会員は、79人で委任状を提出された会員さ

んは204人でした。総会は別府后理事の「開会の言葉」に続いて、杵村喜芳理事長より挨拶がありました。理事長は、『シルバー人材センターは平成12年に誕生し、はや17年の歳月が流れました。その間我が国は高齢化が急速に進行しており、世界的に見ても例のない元気な高齢化社会を迎えております。そのような日本社会の状況を捉えてか1月に日本老齢学会が高齢者の年齢を75歳以上とする提案をされました。65歳以上は支えられる側として今まで設計されていた社会保障や年金制度のあり方にも影響があるわけであり、75歳以上にならないと年金がもらえないのかというこ

とになれば、これからは74歳まで働かなければならないのかという意見も出てくるわけでございます。そんな人に作家の曾野綾子さんは、「今、百歳まで生きる人が多くなったという時代に、そして百歳に近づくほど人の世話にならなければならぬのに、70歳から遊んで暮らしていたら社会はともやっつけていけない。一人で死ぬと云うお一人さんも最後は家族でない誰かのお世話にならなければならぬ」といいます。続けて曾野さんは「人間は生きていく限り健康な限り、できるだけ働くのが当然と思っています」といわれます。私もその通りだと思えます。生きて元気な間は、世のため社会に貢献する。社会への恩返し、社会参加することが大事だと思っております。高齢者に対する意識替え、社会参加を促すきっかけとなる、その一つがこのシルバー人材センターでの活躍ではないでしょうか。私たち高齢者の働く意欲を高め、働く場が広がるシルバー人材の存在、役割があるわけでございます。私たちシルバーの事業推進目標であります「自主・自立・共働・共助」の理念を大切に、それらを守りながらシルバーの仕事を通じて生きがいを持って安心して働ける。そして街づくりや社会貢献ができる事業を進展させていくことの重要性が一段と高まってきたというところであります。それらの意味を十分ご理解頂きますしてシルバー事業に対しまして市当

◆ 働く喜びと社会参加の輪を拓けよう ◆ 自主・自立・共働・共助 ◆ 安全就業

局より多くの支援としての補助金の交付をして頂きました。市当局の特別な配慮に對しまして感謝申し上げます。今後も一層の支援をお願いする次第でございます。今、我々シルバー人材センターは、地域の高齢者活動を支える不可欠な存在となり、年々その重要性が高まっております。

ところであります。しかし、そんな中シルバの運営につきましても色々な課題や問題がございます。例えば年金支給開始年齢の引き上げ、それに伴う高齢者雇用制度の影響により、会員数の減少があります。そしてまた、民間企業からの受注額が減少傾向にあり厳しい財政運営が続くことが予想されます。しかし私たちは前向きに捉えて新たな取組を計画しています。それは、介護予防日常生活支援総合事業による取組の実施であります。センターの安定的な財政・事業運用を図るためにはさらなる受注拡大に取り組んで参ります。そのためにも今後は会員の増強と就業機会の拡大が最重要課題と考えるわけでございます。今後もより地域に認められ、無くてはならないセンターとして役員共々地域のために、また会員の皆様方の就業機会の確保拡大に向けて事業の展開を進めていく所存でございます。今後も会員皆様方の多くの経験と、それ

からあふれる熟年パワーで、更なるご支援とご協力をお願いするものでございます。最後になります。が会員皆様方の健康と事故には十分注意を払って頂き、今年度も安心安全そして事故ゼロで事業を展開して頂くことを切にお願いするものでございます。』と述べられました。

続いて、ご臨席を頂いた吉田弘明市長から祝辞を頂きました。市長は、『人材センターの理念と申しますのは「自主・自立・共働・共助」をしつかり基本に見据えながら地域の発展にご貢献頂いているわけでございます。その昔、堺屋太一さんが団塊の世代という言葉を生み出しました。昭和22年から24年までの生まれの方を指すわけですが、今、理事長のお話にありましたように、この方々が今66歳から70歳を迎えるところで、いちばん日本でも人口の多い層といわれて参りました。私は昭和36年ですけれども、この年代も、そろそろ60代に入ってきており、その方々に求める仕事の内容も変わってくるのではないかと思います。団塊の世代の時代は、沢山の人数で労働時間も沢山使って色々なものを生産し発展してきました。我々の年代で、インターネット等の技術が発展して、仕事のやり方も一寸変わってきたところでございます。

今後のシルバー人材センターは、仕事の展開も変わってくるタイミングがこの何年か先にやってくるのではないかと思えます。日本では人の部門を人事といいます。ところが海外ではヒューマン・リソースといえます。ヒューマンとは人間性であり、そしてリソースとは資源と云う人をしつかりと生かしていこうという考え方を基にヒューマン・リソースと云う言葉を組織では使っているようであります。まさに、人・物・金とよく言いますけれども、その人と云うのは人材であり、香芝の町は若い町ではございますけれども、色々な団塊6の世代を駆け抜けて来た方々がおられますが、沢山の経験と英知をもった方がおられると私は思います。

こういった方々が今後この町の中核にしっかりと入って頂いて、町の発展そして仕事の発展、そして更には自らの働き甲斐・生き甲斐・居場所、こういった物につなげて頂きたいと思っております。町としては、そういった環境づくりの他に、バリアフリーにも力を入れていきます。みなさんが見てお気づきのところで言いますと、下田の駅にエレベーターを付けさせて頂きました。今、国の方をお願いしているのがJR香芝駅のバリアフリー化です。ホームを段差の無いようにしてほしい、保

線橋に屋根を付けてほしい。そしてお手洗いを高齢者や障害者の方々が使えるようになかたちにしてほしい。先日、小西議長と一緒に国土交通大臣に直接お願いに行ったわけです。持ち物はJR西日本のものでございますので我々が命令指示は出来ませんが、支社長にも来て頂いて現場を見て頂いて一刻も早く取り組んで行こう、そして国の方も援助しながらやろうと云うようなお話を頂きました。こんなかたちで働き甲斐と、そしてまた、体が少し不自由になってきたときにも、少しでも自立が出来るように、市としてもトータル的な社会・町づくりを進めていこうと思っております。今後ともこの総会を期に更に活躍いただける事を祈念申し上げます。』と述べられました。

続いて、ご臨席を頂いた小西高吉議長から祝辞を頂きました。議長は、『本市のシルバー人材センターには、28年度において420名の方が登録されているとお伺いさせて頂いております。その中で、今までの経験、そして知識を存分に発揮され、色々なお仕事に取り組んで頂きますこと、本市にとっても非常に有り難いことだと思っております。良くお見受け致しますのは、庭の剪定をして頂いたり、学校の用務員等のお仕事をして頂いている

わけでありますが、これから暑い日が続くわけでございます。水分を十分とって頂いて、体にも十分ご慈愛いただけたいと思います。私の母親も86歳を迎えております。まだまだ元気で忙しくはさせて頂いているのですが、もう働くことは出来ないかと思うのです。なるべく家族に迷惑をかけないように、しっかりと毎日、朝昼晩と歩いております。みなさんにおかれましても、自分の体は自分のものでございませう。しっかりと把握しながら色々なことに取り組んで頂いて、後世にも残るような知識・智慧、色々な形で引き継いで頂けたらと思っております。この香芝市においても高齢化が進んできております。その中でもシルバー人材センターの拠点づくりと云うのは、本当に大切だと思っております。定年された後、早期退職された後、色々な形でシルバー人材センターでお働き頂いていると思えますが、どうか香芝市のためにも色々なお立場でまたご尽力、ご協力頂ければと思っておりますので、どうかよろしくお願ひ申しあげます』と祝辞を頂きました。

続いて議長に船木克容理事が選任され、議事録署名人(2名)の選任の後、本総会に提出した議案の審議に入りました。まず、第1号議案 平成28年度事業報告

及び、第2号議案 平成28年度収支決算報告について審議されました。

平成28年度収支決算では、仕事の受注契約金額は1億7,289万円、うち会員に支払った配分金は1億3,330万円、センターから仕事の提供を受け就業した会員は376人(就業率89.5%)等の事業実績の報告があり、いずれも原案どおり承認を頂きました。

次に第3号議案 役員を選任についてを議題とし、理事2名の辞任に伴う後任理事として理事2名の候補者が提案され、第3号議案は、議決承認されました。

続いて第4号議案 理事長に対する権限委任についても承認を頂き、すべての議事が終了し、長田ミツ子理事の「閉会のことば」で総会は閉会しました。

総会終了後、奥田孝子先生による「高齢期の食と健康」についての講演が行われました。講演の内容につきましては、「安全号」に掲載しております。

◎理事会の開催状況

☆第1回通常理事会(4月28日)

①第1号議案 正会員入会申込者の承認について

入会申込者数4名(男2・女2)

②第2号議案 平成28年度収支補正予

算(第4回決算前)案について

③第3号議案 平成28年度事業報告について

④第4号議案 平成28年度収支決算報告について

⑤第5号議案 平成28年度監査報告について

⑥第6号議案 役員を選任について

⑦第7号議案 理事長に対する権限委任について

⑧第8号議案 第29回定時総会の招集の手続き等について

☆第2回通常理事会(5月29日)

①第1号議案 正会員入会申込者の承認について

入会申込者数8名(男8・女0) 正会員入会申込者全員の入会が承認されました。

☆第3回通常理事会(6月29日)

①第1号議案 正会員入会申込者の承認について

入会申込者数5名(男4・女1) ②第2号議案 公益社団法人香芝市シルバー人材センター配分金見積基準

単価表(案)について

《配分金支払規約第5条(配分金見積

基準の決定)により、配分金見積基準単価表(案)について承認を求めらるる

・職種別・作業別 見積基準単価表
・出張着付け 料金表

・洋服リフォーム、寸法直し 料金表
・襖・障子・網戸張替え 単価表

・宛名書き・賞状書き 料金表
・チラシ配り 料金表

審議の結果、いずれも議決承認されました。

◎役員を選任について

当センター理事の松原秀典氏並びに村中義男氏が一身上の都合により当センター理事を辞任されましたので、後任の理事として第29回定時総会において、次のとおり理事2名が選任されました。

理事 堀本 武史 (新任)
理事 森村 光延 (新任)

◎毛筆筆耕講習会(独自講習会)

・開催日 平成29年10月4日(毎週「水曜日」開催(計15回))

・時間 午前10時〜午後3時
・場所 当センター会議室

・定員 15名程度

・申込み 8月31日(木)まで

前回受講された方も参加できます。

◎技能講習

(高齢者スキルアップ・就職促進事業)

厚生労働省奈良労働局委託事業の技能講習を受講希望の方は、当センター事務局に詳しい資料がございます。

問合せ先 公益社団法人奈良県シルバー人材センター協議会

TEL 0745-5416800

◎会費の納入と会員証の更新について

当センター会費規程により、平成29年度会費(2,000円)は、本年4月末日までに納めて頂くことになっていきます。

会費未納の方は、古い会員証とともに、至急に事務局までご持参下さい。

◎事務局へ電話されるとき

「会員の〇〇〇〇です」と、必ずフルネームで言うて下さい。よろしくお願ひします。

◆仕事中に、事故や急病など緊急事態が起きたときは、直ちにセンター事務局へ連絡してください。

《センター事務局 79-6601》